

思想家	著書	主張
イギリスの< >	『市民政府二論』	基本的人権
フランスの< >	『社会契約論』	人民主権
フランスの< >	『法の精神』	三権分立

出来事	宣言	内容
1688 イギリス < >革命	権利章典	国王は議会の承認なく
1775 アメリカ < >戦争	アメリカ独立宣言	生命・自由及び幸福の追求
1789 フランス フランス< >	フランス人権宣言	人は生まれながらに自由で平等

日本国憲法 (公布:< >年11月3日 施行:1947年5月3日)

日本国憲法の三大原則		
< >主権	政治の決定権は国民がもつ	※天皇は象徴
< >主義	前文	戦争を放棄
	憲法第9条	国権の発動たる 戦争と武力の行使は永久に放棄する。戦力は保持しない。国の交戦権は認めない。
	非核三原則(憲法ではない)	持たず、つくり、持ち込ませず
< >の尊重	人間らしく生きていくための権利を保障する。個人をかけがえのないものとして大切にすること	

基本的人権の内容 (永久の権利)			
主な部分	< 権	>	身体の自由 奴隷的拘束からの自由 逮捕拘禁などに対する保障 ※裁判官が発行する逮捕令状が必要
			精神の自由 信教の自由 表現の自由 学問の自由
			経済活動の自由 居住移転 職業選択の自由
	< 権	>	法の下での平等 人種、信条、性別、社会的身分、または門地によって差別されない。
			共生社会 男女雇用機会均等法 バリアフリー ユニバーサルデザイン アイヌ文化振興法
	< 権	>	生存権 『健康で文化的な最低限度の生活を営む権利』 25条社会保障制度
			教育を受ける権利
			勤労の権利 労働基本権 労働三権 団結権 団体交渉権 団体行動権
			国民の義務 子どもに普通教育を受けさせる義務 勤労の義務 納税の義務

人権を守る部分	< 権 >	選挙権、 国民投票権、 国民審査権	
	< 権 >		国の機関に要望する
	< 権 >	裁判を受ける権利 国家賠償請求権 刑事補償請求権	
新しい部分	< 権 >		環境アセスメント
	< 権利 >		地方で情報公開制度 国で情報公開法
	< の権利 >		個人情報保護法
	< 決定権 >		インフォームドコンセント 尊厳死 安楽死 ※ドナーカード